

## 第1回芭蕉翁生家保存改修検討委員会議概要

■日 時／ 平成30年12月20日（木）午後1時30分～

■場 所／ ハイトピア伊賀5階学習室1A

■出席者／委員

|                     |       |                                |   |      |
|---------------------|-------|--------------------------------|---|------|
| 学識経験者               | 菅原 洋一 | 三重大学名誉教授                       | 出 | 委員長  |
|                     | 福井 健二 | 公益財団法人伊賀文化産業協会前専務理事            | 出 |      |
| 伊賀市文化財保護審議会委員を代表する者 | 滝井 利彰 | 伊賀市文化財保護審議会委員                  | 欠 |      |
| 公共的団体等を代表する者        | 廣澤 浩一 | 一般社団法人伊賀上野観光協会                 | 出 | 副委員長 |
|                     | 岡島 久司 | 公益財団法人芭蕉翁顕彰会                   | 出 |      |
| 地元住民を代表する者          | 安場 豊  | 上野東部地域住民自治協議会理事<br>(上野赤坂町自治会長) | 出 |      |

### 関係部署職員

[伊賀市文化財課] 笠井課長

[伊賀市建築課] 森下主査

### 事務局

[伊賀市企画振興部] 宮崎部長

[伊賀市文化交流課] 滝川課長、藤田主幹、松本主任

### ■内 容

- 1 委員の委嘱について
- 2 諮問について
- 3 委員長及び副委員長の選出について
- 4 芭蕉翁生家の概要と現状について
- 5 耐震調査について
- 6 今後の進め方について
- 7 その他

## ■概 要

### 3 委員長及び副委員長の選出について

- ・委員長は、菅原 洋一さん
- ・副委員長は、廣澤 浩一さん

### 4 芭蕉翁生家の概要と現状について

### 5 耐震調査について

### 6 今後の進め方について

- ・部材ごとの破損度を調査する必要がある。
- ・耐震改修設計に調査として含めるほうがよい
- ・工事のときでないといけない情報が出てくるので、それはしっかりとまとめる必要がある。
- ・どういう調査でどういう工事でその結果がこうなりましたという、工事前と工事後の報告も含めた調査報告書を作ったほうがよい。
- ・芭蕉翁生家となっているが、時代があわないとの記載があるので、市史と県史の齟齬を直すなど、伊賀市が提示する情報を整理する必要がある。
- ・芭蕉が生まれた家ではないということになるかもしれないが、そういう前提での価値付けはできる。うやむやにしておくのはよくない。
- ・誕生地かどうかという情報をきっちり整理したうえで、改めて正確な評価をしていく必要がある。生家ではないとしても、芭蕉さんとの関わりがある場所に間違いのないため、継承の仕方を変えていく必要も出てくる。
- ・価値付けとしては、建物だけを捉えると新しくて時代が違うとなった場合、一つは、松尾家と場所との関わりを資料として示す。もう一つは、芭蕉を大切にしてきた顕彰してきた歴史を発信していくべき。
- ・幕末に建てられた建物であっても、品格のあるよい建物。建物の価値はどこにあるのか、芭蕉を離れても成り立つ価値を見つけていくことが必要。
- ・市内では、武家屋敷は公開されているものがある。町屋でいい建物はあるが、公開されているものが生家以外にない。上野の町屋を見て、上野の文化を知るという点では価値があるので、そこを明確にしていってはどうか。
- ・生家の公開をやめているが、工事のやり方を考えて、工事をしない釣月軒部分、裏庭には入れるようにすれば、だいぶ違うかもしれない。
- ・開けていると防災や安全面、管理面から人の配置が必要となり、その経費もかかってくる。
- ・来年の前半までに活用のあり方を固めていかないといけない。活用するとなると、市主催事業で使うのがメインとなり、貸すということにはならないのではないかと。貸室は難しいだろう。
- ・書などを展示するギャラリーとして使用するのはどうか。